

多治見市にbjリーグ公認スクール

4日開校

プロバスケットボールリーグ「bjリーグ」公認のバスケットスクール「bjアカデミー岐阜多治見校」が6月4日に開校する。bjアカデミーの設立は県内初。運営主体の「スポーツクリエーション岐阜」(多治見市滝呂町)は、3年後にはbjリーグのサテライトリーグに参戦できるチームを誕生させ、「バスケット」による地域活性化を目指す。

(岡田敬史)

リーグ参戦を目指す

bjリーグは子どもらの技術向上と選手のすそ野の拡大などを目的にアカデミー事業を展開中。現在、全国に55の公認スクールがある。

多治見校は、幼児から中学生までを対象に定員10〜20人程度の7クラスを開設する予定。bjアカデミーコーチ陣が個人のスキルアップに特化した指導を行う。

運営主体のスポーツクリエーション岐阜は、バスケットで地域を盛り上げようと、多治見市内の10事業所が出資して4月に発足、一般



bjリーグ公認のバスケットスクール「bjアカデミー岐阜多治見校」の開校を発表する曾根康正代表理事(左)ら。多治見市役所

社団法人岐阜スポーツアカデミーを設立しスクールの運営する。選手育成などを足掛かりに、bjリーグが9月からスタートさせる地域ブロックごとに開催するサテライトリーグ「チャレンジリーグ」に参戦するチームの結成を目指す。

アカデミーの曾根康正代表理事は「将来、地域活性化につながるには多治見にプロげていきたい」と話しバスケットチームを誕生させた。